**歯科衛生研究会抄録作成の留意点**

* **演題名、発表者名、所属を付記して抄録本文（自由形式）をお書きください。**
* **全体をA4用紙1ページに収まるようお書きください。**
* **抄録記載例を次ページに示します。**
* **演題名と発表者、所属と抄録本文の間を1行開けてください。**
* **演題名は太文字にしてください。**
* **フォントは11pt程度の明朝体を推奨します。**
* **抄録集紙面の都合上、こちらで体裁を整える場合がございますのでご了承ください。**
* **Wordで作成したファイルを mariko.yt@ngt.ndu.ac.jp****宛てに送付してください。**

**１．インターネットではフッ素による齲蝕予防はどの様に伝えられているか**

抄録記載例

◯短大衛子１、□□□□２、●●●●３

１新潟短期大学専攻科歯科衛生学専攻、２新潟短期大学歯科衛生学科、

３新潟病院総合診療科

【目　的】　現在、加速度的にインターネット普及率が上昇している。これを受けて、医療に関する情報、知識も圧倒的な量でインターネット上を流れることになった。それらは世界的な規模での医療サービスの変化を誘発し、その結果膨大な医療情報の中から有益なものだけを収集する方法が必要になる。そこで、私たちが日常行っている齲蝕予防へのフッ化物応用についてインターネットでは、どの様に伝えられているかを検索した。そして一般利用者へ伝えられている情報内容を確認し、患者への対応方法を考える一助とすることを目的とした。

【方　法】　MSN　Searchを用いて「フッ素」および「歯」という語句で検索した。

【結　果】　210件のページが検索された。これは125のホームページとして確認できた。その内訳は歯科医院35件、県市の歯科医師会19件、役所・保健所などの公共のサイト34件、歯科ネット、健康ネット、子育てサイト、新聞社がそれぞれ3件であった。他には歯科大学、小学校、歯磨剤企業や環境保護に関してのホームなどが検索された。

　保健所、歯科医師会、歯科医院はフッ素の有用性やフッ素塗布の公示などがほとんどであった。歯科におけるフッ素の専門サイトとしては、水道水フッ素化委員会、日本むし歯予防フッ素推進会議などがあり、これらは世界的に行われている水道水へのフッ素添加を推進するホームページであった。また、これとは反対にフッ素の歯科応用への警鐘をならすフッ素研究会、フッ素毒警告ネットワークなどがあった。

【考　察】　推進派と反対派のホームページはお互いに牽制し、攻撃し合っており、一般利用者はどちらが正しいか戸惑うと思われる。フッ素使用反対派の意見は、歯科医療関係者養成機関では教わる機会がないだけに、自分自身で客観的データを多く集め、結論を導き出し、歯科医療に携わっていかなければならないと痛感した。現在WHOおよびFDIなどが奨める虫歯予防法は1.水道水のフッ素化、2．学校・幼稚園でのフッ素洗口およびフッ素塗布、3.学校等でのシーラント、4.砂糖の摂取制限、5.歯磨き（フッ素入り歯磨剤使用が条件）としている。これらの事実も踏まえ、患者への適切な対応が必要だと考えられた。

【結　論】　インターネット上では、齲蝕予防へのフッ化物応用について様々な伝え方をしているので、注意が必要である。